



しんろだより

令和2年1月17日 Vol.10
県立米子養護学校
進路指導部 発行

『18歳で自立・社会参加できる人間を育てる』

卒業が近づいています

3学期が始まりました。高等部3年生は間もなく県米を卒業し、社会人になります。

この時期の高等部3年生は、卒業後に向けて、働き方や生活の仕方について学習をしています。これまで学校で培ってきた力を社会に出てからも発揮してほしいと思います。学校としましては、これまでの学校での支援をスムーズに進路先へつなげていきたいと思っています。今回のしんろだよりでは、学校から進路先へ支援をつなげていく**移行支援会議**についてお伝えします。

高3移行支援会議について

卒業後の進路先（企業・福祉サービス事業所）やその他の支援機関に支援をスムーズに移行していくための会議です。

進路先が決まったら、順次この移行支援会議の日時を決めて実施していきます。



◆時期 2月中旬から3月末まで

◆参加者

進路先	企業	本人 保護者 担任	企業担当者、障害者就業・生活支援センターしゅーと担当者、 （ジョブコーチ支援を行う場合）鳥取障害者職業センター担当 者、ジョブコーチ
	福祉サービス 事業所	学年主任 進路担当	福祉サービス事業所担当者、市町村役場担当者 相談支援事業所担当者

◆主な流れ

進路先	企業	<ol style="list-style-type: none"> ① 勤務について（勤務時間、休日、通勤方法、入社日の動きなど） ② これまでの支援について学校から「移行支援計画」を提示しながら説明 ③ 今後の就労支援について（各支援機関から） ④ 就職支度金、障害基礎年金受給申請や療育手帳更新の説明 ⑤ 本人、保護者からの質問、一言
	福祉サービス 事業所	<ol style="list-style-type: none"> ① これまでの指導・支援について、学校から「移行支援計画」を提示しながら説明 ② 今後の利用・手続きについて <ul style="list-style-type: none"> ・利用開始日、利用時間、通勤方法、持ち物、昼食等の確認 ・利用に向けての手続きについて ③ 卒業後または将来的なニーズについて（保護者より） ④ 市町村役場担当者から障害基礎年金受給申請や療育手帳更新等の説明 ⑤ 利用にあたって、生徒、保護者、福祉サービス事業所より一言

「移行支援計画」は、4月から生徒や保護者と話を詰めながら、少しずつ完成させていきます。移行支援会議では、『移行支援計画』を各支援機関に提示しますが、事前に保護者に内容の確認をお願いし、情報開示の了解を得ます。

移行支援会議は、高等部3年生が、新生活への不安や困り事を減らし、希望を持ってスタートするためにを行います。